

10の謎 (Jyuu no Nazo) - アブラハムの宗教經典に焦点を当てて

(Aburahamu no Shukyōkyoten ni Shōten o Atete)
@2024 Shawn Jipp

苦しみと悪 (Kurushimi to Aku): キリスト教は、神は全知全能であり、慈悲に満ち溢れており、限りない慈悲を示していると教えます。しかし、世界に否定できないほどの苦しみが存在することは、少なくともこれらの神聖な属性の一つを疑問視させます。聖書では、慈悲深いはずの神が、創世記 6:6-10 にあるように、人間を作り出したことを後悔したため、世界的な大洪水で人類全員を溺死 (できし) (窒息 (shikchokku)) させました。ノアは神の前に恵みを受け、神は人類バージョン2がより良くなることを望んでいましたが、それは実現しませんでした。この神は完全ではなく、未来を知らず、人類バージョン1を作った際の間違いからも学ぶことができないようです。

聞き入れられない祈り (Kikinarenai Inori): ペストは 14 世紀のヨーロッパで 2,500 万人以上の人命を奪いました。これらのキリスト教徒は祈りました。しかし、沈黙しかありませんでした。ホロコーストの間、600 万人のユダヤ人は神への解放を祈りましたが、殺害されました。それでも沈黙がありました。地球上で毎日 2 万 5 千人 (年間 912 万 5 千人!) が水と食料不足で亡くなっています (多くはイスラム教徒やアニミズム信仰者です)。彼らは祈りながら、目の前で子供が死んでいくのを見守って、ゆっくりと死んでいくのです。それでも、また沈黙があります。

病気 (Byouki): 慈悲深い神は、病気、パンデミック、流産、先天性障害、癌 (ガン) などの人間の問題に介入したり解決したりしません。代わりに、科学は天然痘 (てんねんとう)、ポリオ、および牛疫 (ぎゅうえき) の治療法を提供してきました。ワクチン接種は、インフルエンザ、COVID-19、麻疹 (はしか)、風疹 (ふうしん)、風刺 (かぜさし) など他の病気から保護します。

神の混乱 (Kami no Konsan): 神は、人類がどの特定の神格を崇拝すべきであるかを知らせることに関心がなさそうに見えます。人類はこれまで 3,000 を超える神々を崇拝してきました。世界中の様々な矛盾した信仰を持つ人々は、毎日、ビジョン、夢、恍惚 (こうこつ) 体験、予言、異言 (いげん)、"胸の中の燃焼 (mune no nenshou)" などを体験し、自分たちの信仰が最も正しく神に喜ばれるものであることを「証明する」出来事を体験しています。

証明の欠如 (Shoumei no Ketsujo): 神の存在、さらには聖典における主要な出来事のいくつかについての、経験的かつ検証可能な証拠が欠けています。例えば、世界的な洪水についての科学的証拠はなく、エジプトからの脱出についての考古学的証拠もありません。非常識な主張には、非常識な証拠が必要です。

聖典の矛盾 (Se典 no Mujun): 矛盾と不整合が溢れています。例えば、マタイ伝 27:3-10 と使徒行伝 1:16-19 では、ユダの裏切りと血の畑の購入について異なる物語が語られています。どちらが正しいのでしょうか？ マタイ伝 2:13-14 では、イエスの誕生後、聖家族はエジプトに逃げ延びたとありますが、ルカ伝 2:39 ではガリラヤに戻ったとあります。どちらが正しいのでしょうか？ この 2 つの例だけでも、聖書はすべてを文字通りに受け取ったり、そうすべきではないことを示しています。

聖典における道徳的に問題のある問題 (Se典 ni okeru Dōtoku-teki ni Mondai no aru Mondai): 旧約聖書では、神はアマレク人の殲滅 (せんめつ) を命じたとされています。戦闘員だけでなく、妊娠中の妻、子供、家畜、ペットまでが含まれます。他の戦いに勝利した際にも、神(?)は敵の妻をヘブライ人の奴隷 (どれい) にすることを許したとされています。もう一つの例は、聖書が奴隷制度を決して非難していないことです。人間奴隷制を禁止する第 11 の戒律が定められていれば、世界中で何世紀にもわたって多くの人

科学は自然現象に対するより良い説明を提供している (Kagaku wa Shizen Genshō ni Taisuru Yori Yoi Setsumei o Teikyō shiteiru): 科学から得られた人間の知識の進歩は、激しい気象、火山、地震、精神病の原因

についての自然主義的な説明を提供してきました。これらの説明は、それらを神罰や悪魔の活動に帰する宗教的信念よりも、より一貫性があり、首尾一貫しています。

宗教的教義の変化 (Shūkyō-teki Kyōgi no Henka): 宗教的信念は、それらが現れる歴史的・文化的文脈によって形成され、しばしば進化し、変化します。シノプティック福音書では、イエスは、神の王国が近いので悔い改めなさいと人々に警告する黙示録的な説教師です。彼は決して自分が神であると宣言しません。しかし、ヨハネによる福音書では、イエスはしばしば神と同等であると宣言します。ヨハネによる福音書は、シノプティック福音書の数十年後に書かれたものです。神学は変化します！

聖書は人間によって書かれたもの (Seisho wa Ningen ni Yotte Kakareta Mono): 聖書には、鉄器時代の技術よりも新しい科学や技術は明らかにされていません。その時点で「神にしか知ることができなかった」という証拠の詩句はありません。オリジナルの写本やオリジナル写本の写しは持っていません。多くの写本は、他のコピーされた写本と一致しません。過ちを犯す人類は、過ちを犯す聖書を作成、翻訳、解釈します。

私のウェブサイトは <https://outsideoftime.space/>

です。私のオーディオブログは <https://outsideoftime.space/audio/>

です。いつでも shawnjipp@gmail.com

までご連絡ください。私の文章の校正には妻に感謝し、ChatGPT 3.5 の貢献に感謝します。